

## 仲間と一緒に「学び」をつなぎ、新たな「課題」を自分ごととして捉え、解決しようとする愛顔あふれる子どもを育てる

愛媛県松山市立三津浜小学校 宮崎 達也

### 1 テーマ設定の理由

子どもたちの置かれている環境に目を向けると、一人一台端末の導入など、近年の情報技術進化は、便利さをもたらす一方で、多くの問題も起きており、生活様式の多様化や情報に関する技術の進化などにより、子どもたちの生活環境は刻一刻と変化している。それに伴って、望ましい生活習慣での過ごし方や子どもたちの心の発達、人間関係等に対する不安やトラブルへの対処なども複雑化している。また、昨今の感染症の流行が示すような病気の予防など、子どもたちが現代社会の健康課題に対応する力を身に付ける必要感も高まっている。次代を担う子どもたちには、これら様々な課題に対して、正しい知識をもって対応していくことが求められており、保健領域の学習が今まで以上に重要になってくると捉えている。

そこで、本市では、現代の子どもたちが抱える課題の解決にアプローチするために、「教材」「仲間」「自分」とつながりを深めながら研究に取り組むこととする。仲間と一緒に学びをつなぎ、新たな課題を自分ごととして捉え、解決しようとする愛顔あふれる子どもたちを育てたいと考え、本領域テーマを設定した。

### 2 研究の視点

#### (1) 教材とつながる

- 子どもの実態に応じた単元の導入を工夫することで、学習意欲が向上するようにする。
- 専門知識をもつ養護教諭等との連携を図り、共に教材を選定したり、ITで授業をコーディネートしたりすることで、子どもが正しい知識をもつことができるようにする。

#### (2) 仲間とつながる

- 「自分の考えを伝えたい」「みんなはどんなことを考えているのだろう」と感じるような問いや課題を設定し、対話への必要感をもつことができるようにする。
- 「自分ごととして捉えている」「学びをつなげようとしている」「考えを共有しようとしている」などの表現を子どもたちの対話から取り上げ、板書や教室掲示をして子どもの考えを視覚化することで、考えを広げたり深めたりできるようにする。

#### (3) 自分とつながる

- 自分の学びの記録を蓄積し、仲間と学びを共有するとともに自分の考え方の変容を捉えることができるようにする。
- 教材との出会いから学びを深める過程を大切にするために、ポートフォリオ評価を充実させる。
- 自分自身の学びの成果や課題を振り返り、自分の生活に生かしていくことができるようにする。

### 3 研究の実際

#### (1) 教材とつながる

##### ア 実生活に基づいた課題設定の工夫

4年生「体の発育・発達」における導入では、新生児の靴や服を用意し、今の自分たちの靴や服と比較することで、成長の様子について気付けるようにした。すると子どもは、「赤ちゃんの靴は、手のひらサイズしかない」「今着ている服は、赤ちゃんの服の二回り以上も大きい」など、その大きさの違いに驚いた様子であった。過去と現在の身長の違いや身長の伸びについて考えることを通して、「わたしたちの体はどのように成長しているのだろうか」という学習課題を設定した。

##### イ 実感を伴った理解をつなげるための取組

6年生「病気の予防」では、教科書に書かれている「病原体のうつる道筋を断ち切る」ことについて、手洗いを例に挙げて授業を行った。普段の手洗いの仕方は本当に効果があるのか、実感を伴って理解することができるように、ブラックライトを使って手洗いの実験に取り組んだ。すると、いつも通りの手洗いでも、汚れが残っていることに驚く子どもが多かった。「病原体のうつる道筋を断ち切る」ための手洗いの重要性や病原菌が体に入る経路について、理解を深めることができた。

##### ウ 正しい知識を身に付け、理解を深める授業づくりのための養護教諭等との連携

5年生「心の健康」の学習では、不安や悩みがあるときの対処法として、「信頼できる人に話したり、相談したりする」「好きなことをする」「体を動かす」など、いくつかの方法が教科書に紹介されている。そこで、学習したことをより深く理解し、実践していくためには専門家との連携を図る必要があると考え、心の専門家であるスクールカウンセラーや体の専門家であるヨガインストラクターとの連携を図った。スクールカウンセラーには、ビデオメッセージを通して、これから抱えるであろう不安や悩みの解決方法について、経験談を交えながら説明していただいた。

ヨガは簡単な呼吸法や体ほぐしの仕方を教えていただいた(資料1)。呼吸法では、息を深く吸ったり、吐いたりすることで気持ちが落ち着くこと、体ほぐしでは、体を緊張させることと脱力することを繰り返しながら徐々に体がリラックスしていくことを体験的に学んだ。子どもたちは、「ヨガをすることで体がリラックスでき、気持ちがすっきりした。」と述べており、実生活に生かしていこうという思いを高めた。



(資料1) 体ほぐし運動の様子

#### (2) 仲間とつながる

##### ア 一人の力では解決できず、みんなで力を合わせることで解決できる課題の設定

「心の健康」の学習では、自分に合った不安や悩みの解消方法を行う大切さに気付くことができるように、自分の不安や悩みを解消する「すっきり法」を考えたり、試したりする時間を設定した。さらに、自分が普段行っている方法を友達と紹介し合い、体験する活動を取り入れた(資料2)。「深呼吸をする」「気泡緩衝材を指で潰す」「寝転がる」「好きな音楽を聴く」など様々な方法があり、自分が行っていることと違う解消方法の効果を実感しながら試すこと



(資料2) 友達の「すっきり法」を試す様子

ができた。その後、「気持ち良かったから、悩んだときは自分も試してみたい」「この方法はあまりすっきりしなかった」という感想が挙がり、人によって対処法が違うことにも気付いた。

### イ 対話的な学びを活性化する手立ての工夫

「心の健康」の学習では、単元を通して、グループ活動を取り入れた。その際、友達同士の協働的な学びを充実させるためにロイロノートを活用した。そこには、①「自分が思いついたアイデア」②「友達の意見を聞いて、取り入れたい意見や自分の考えにはなかった新発見」③「話し合い後に、自分の考えを整理したもの」の三つが記入できるようにした（資料3）。そうすることで、単元を通して自分のアイデアや考えを整理したり、話し合い後に友達の考えから多様な意見を取り入れたりすることができた。自分と友達の考えを比較しながら情報を整理し、記録することで、新たな気付きを得た自分の考えをまとめ直すことができた。

<p><b>①自分の考えの整理</b></p> <p>【今までの不安や悩み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○お母さんが家にいないとき（不安）</li> <li>○自分の仲間が喧嘩してしまったとき（悩み）</li> <li>○家族（自分の弟）がけがをしてしまったとき（不安）</li> <li>○忙しくて、勉強がはかどらないとき（悩み）</li> </ul> <p>【不安や悩みに対する自分のおすすめの対処法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○寝る</li> <li>○音楽を聴く</li> <li>○ピアノを思いきり弾く</li> <li>○お母さん（家族）に相談する</li> <li>○走る（身体を動かす）ストレス発散</li> <li>○好きなテレビを見る</li> <li>○リラックスできる方法を調べる</li> </ul>	<p><b>②友達の考えの整理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペット（自分が飼っている犬）にいやしてもらう</li> <li>○大好きなぬいぐるみを膝の上に置く</li> </ul>
<p><b>③話し合いを終えた自分</b></p> <p>自分が考えた方法以外にもたくさんあった。ペットは強い味方かもしれない。</p>	

（資料3）自分の考えや友達の考えを整理する学習シート

### (3) 自分とつながる

#### ア 学びの成果を実感し、次への学びにつなぐことができる振り返りの工夫

自分の学びを実感し、学びを次時につないでいくために、ロイロノートを活用し、ポートフォリオ評価を行った。ロイロノートで学習カードを作成し、自分の考え方の変容を分かるようにすることで、「今まで学んだことを次の時間に生かしていきたい」「家でもやっていきたい」という感想が見られた（資料4）。過去の自分とつながりながら学びを自分ごととして捉えたり、学びをつないだりして理解を深めることができた。

<p><b>3時間目</b> 「不安や悩みにはどのようなものがあるのだろう。」 「不安や悩みで困ったときには、どんな対処方法があるのだろう。」</p> <p>【学習を振り返ろう】</p> <p>○ 自分がイライラするときはどんなとき？</p> <p>弟と喧嘩したとき 悪口を言われたとき 怒られたとき</p> <p>○ 自分が不安に感じるのはどんなとき？また、どんな悩みがある？</p> <p>友達が学校を休んだ時 家族の身に何かあった時 みんなと違う行動をとっているとき</p> <p>○ 今日の授業で分かったことや考えたことを書きましょう。</p> <p>みんな、色々な悩みがあることがわかりました。 友達に悩みの相談をされたら、一緒に考えてあげたいと思いました。 また、相手の立場になることも大事だと改めてわかりました。</p>	<p><b>4時間目</b> 「悩みや不安があるときの自分の「おすすめの手立て」を紹介しよう」</p> <p>【学習を振り返ろう】</p> <p>○ マインドスペシャリストの先生の話聞いてどんなことを感じましたか？</p> <p>自分が悩んだり、怒ったりすることは間違っていないんだとわかりました。元氣な証拠だと知れてうれいような感じがしました。ヨガもリラックスできた気がしました。</p> <p>○ 自分が友達の紹介を受けてやってみようとした手立てはどのようなことですか？</p> <p>音楽を聴くと良いと聞いたので、好きな音楽を聴くのもいいなと思いました。</p> <p>○ 今日の授業の感想を書きましょう。（学んだこと、今後の自分に生かしたいこと、疑問点など）</p> <p>色々なお客さんが来て緊張しました。（ちょっとだけ）でも、マインドスペシャリストさんにも来てもらって、お話が聞けたし、リラックスの方法も教えてもらったので、生活に使っていききたいなと思いました。</p>
---	---

（資料4）ロイロノートを活用した学習カード

### イ 学びを子ども自身がつないでいくことができる活動の工夫

「体の発育・発達」の実践では、単元の終末に子どもから、「学習したことを全校のみんなに伝えたい」という声が出た。そこで、学級活動の時間を活用して学校全体の課題を捉え、その解決に向けて活動した。全校児童を対象とした生活アンケートを子どもが作成し、各教室に説明に行った。アンケートの結果から学校全体の課題が「睡眠時間（早寝・早起きの習慣）」であるこ

とが明確となり、その解決のために自分たちにできることを考えた。子どもは、「アンケートの結果を全校に知らせる」「睡眠のよさやその効果を伝える」「ポスターや新聞などを作り、全校に呼び掛ける」といった解決策を考えた。それまでの学びを生かし、健康課題に合った適切な解決方法を考えたり、伝える力を高めたりすることができた。

## 4 研究の成果と課題

### (1) 教材とつながる

#### ア 成果

- 実物を見たり、実験したりすることで、実際との差異に気付くことができた。子どもの感じる驚きや意外性から学習課題を設定することで、主体的な学びを促すことができた。
- 養護教諭やスクールカウンセラー、インストラクターと連携していくことで、様々な視点から学習課題の解決を図ることができた。子どもの実態に即した話や経験について話していただくことで、理解を深めたり、広げたりすることができた。

#### イ 課題

- 学習を進める中で、発展的な内容まで子どもに伝えることがあり、養護教諭と連携していく上で、子どもに伝える情報を精査する必要性を感じた。

### (2) 仲間とつながる

#### ア 成果

- 友達と自身の体験や考えを交流し、自分の考えを他者と比較したことで、課題について多面的に考え、理解を深めることができた。
- 学習シートに自分の経験や感想を整理することで、課題を自分ごととして捉えて考えることができた。

#### イ 課題

- 自身の体験を友達に伝える中で、個人情報や感情に関わる内容を伝えている子どもがいた。プライバシーに配慮できるよう指導していく必要性を感じた。

### (3) 自分とつながる

#### ア 成果

- ロイロノートを活用することで、それまでの学習を振り返りながら学びを整理することができた。それらのシートがポートフォリオとなり、学びが蓄積され、子どもは学びを実感することができた。
- 子どもの学ぶ意欲を他教科と関連させながら生かすことができた。こういった活動を価値付けることで、子どもの更なる主体性を生かしていきたい。

#### イ 課題

- 学習内容によって、学習カードや振り返りカードの問いに対して考えにくい子どもがいた。より自分ごととして考えやすいように学習カードや振り返りカードの内容を熟考し、自分とつながる方法を模索していきたい。